



雨の季節の到来です

南中図書館だより



6月号

新緑あざやかな5月が終わり、しっとりとした「水無月(みなづき)」となりました。

「水無月」は6月の異称ですが、ここでみなさんに質問です。

6月といえば雨の日が続く梅雨の時期なのに、どうして「水が無い月」なのでしょう？

『日本語源大辞典』(小学館)によると、「みなづき」は本来「みなつき」で、「水の月」だとか。

「な」に「無」という漢字を当てはめて使われているそうですよ。(「な」は助詞で、「の」の意味だそうです)

辞典には、この他にも語源説が載っています。言葉も生きもの…いろいろ変化してきたのですね。



五月雨(さみだれ)の 降り残してや 光堂(ひかりどう)



この俳句は、奥州平泉(岩手県)の中尊寺金色堂(ちゅうそんじこんじきどう)を訪れた松尾芭蕉が読んだものです。

「降り続く五月雨も、この光堂だけは降り残したのだろうかと思うほど光り輝いている」

(『まんがとカメラで歩く 奥の細道 ②』理論社 より引用)

「五月雨」は、5月ではなく、6月に降る雨のことをいいます。

こちらの本には、中尊寺金色堂の写真が載っていますよ。

6月の雨のなか、黄金に輝くお堂は、とても美しかったですよね。

金色堂を建てた奥州藤原氏は、平安中期から後期に、東北地方で勢力を持っていた豪族で、源義経をかくまったことでも有名です。

今年度から、歴史関係の学習マンガも、朝読書の時間に読むことがOKになりました(南中図書館蔵書のみ)。 みなさん、ぜひ読んでみてね。



『世界遺産ふしぎ探検大図鑑』小学館

あなたは「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか？

『ウイズ・ユー』濱野 京子/作 くもん出版 (第67回青少年読書感想文 中学の部課題図書)



「わたしは、いなくなんて、なれないんだ。

わたしがいなくなったら、うちが、こわれちゃうから。」(本文より)

自分の存在意義を見出せない中学3年生の悠人は、日課のランニングの途中で、どこか影のある少女・朱音と出会います。朱音は病気の母親の介護や幼い妹の世話、家事をひとりで行っている「ヤングケアラー」でした。

悠人は、彼女の力になりたいと考えるようになりますが…



今月の一冊

とても残念なことですが…

みなさんの中で「図書館マナー」を守っていない人がいるようです。

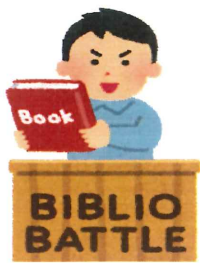
- ・本を図書館の外へ持ち出すときは、必ず貸出手続きをしましょう
- ・返却期限を守りましょう
- ・本を大切に扱きましょう

などのマナーは、だれもが気持ちよく 図書館を利用するための決まりです。

「南中みんなのために」あなたもマナーを守ってくださいね。

図書館マナーはみんなのために!





図書館だより de

Bibliobattle

ビブリオバトル!

この本を、
「推し」ます!

みなさん、「図書館だより de ビブリオバトル!」に参加してくれて、ありがとう!

5月20日に行った開票の結果、前回(5月号)の「チャンプ本」は、2位の『推し、燃ゆ』と7票差で、

『転生したらスライムだった件』に
決定しました!



A

「僕の紹介する「推し本」は、
宮部みゆきさんの、『ブレイブ・ストーリー』です。
この本は、僕がはじめて読んだ小説で、
この本がキッカケで、僕は本好きになりました。
みなさんも、ぜひ読んでみて下さい。」 (2年生)



書名: 『ブレイブ・ストーリー』
作者名: 宮部 みゆき

B

「この本は、ほかの本とくらべて、すこし
こわい話だけど、一回読んだら次が気になって
いきます。この本は、こわい本が好きの人などが
読むといいと思います。読んでみて下さい。」
(1年生)



書名: 『予言』 (原作/『恐怖新聞』)
作者名: 林 巧 (原作/つのだじろう)

C

「高校生の、「スガリ」こと須賀田 綴は、
家庭科教師の杏介を顧問に、「読書感想部」を
立ち上げる。新たな部員も入部し、第3巻では、
綴の秘密があきらかに・・・!?
綴が書く、独特な感性からなる感想文も見どころ
です。ぜひ読んでみて下さい。」 (3年生)



書名: 『スガリさんの感想文は
いつだって斜め上』
作者名: 平田 駒

D

「この本は、主人公のハリー・ポッターが、
友だちのハーマイオニー・グレンジャーと、
ロン・ウィズリーの3人で、賢者の石をねらっている
敵とたたかうお話です。このほかにもシリーズが
あるので、ぜひ読んで下さい!」 (1年生)



書名: 『ハリー・ポッターと賢者の石』
作者名: J.K.ローリング

E

「この本は、「マスク依存症」を主軸に、
本心を外に出すことが苦手な女の子が、
自分の気持ちをはっきり言う男の子に救われる
お話です。ぜひ、読んでみて下さい。
マジで泣くので。」 (2年生)



書名: 『夜が明けたら、
いちばんに君に会いに行く』
作者名: 汐見 夏衛

今月の「推し本」は、こちらの5冊です。

「読んでみたい」と思った本に
みなさん、投票してくださいね。
(投票BOXは図書館にあります。)

